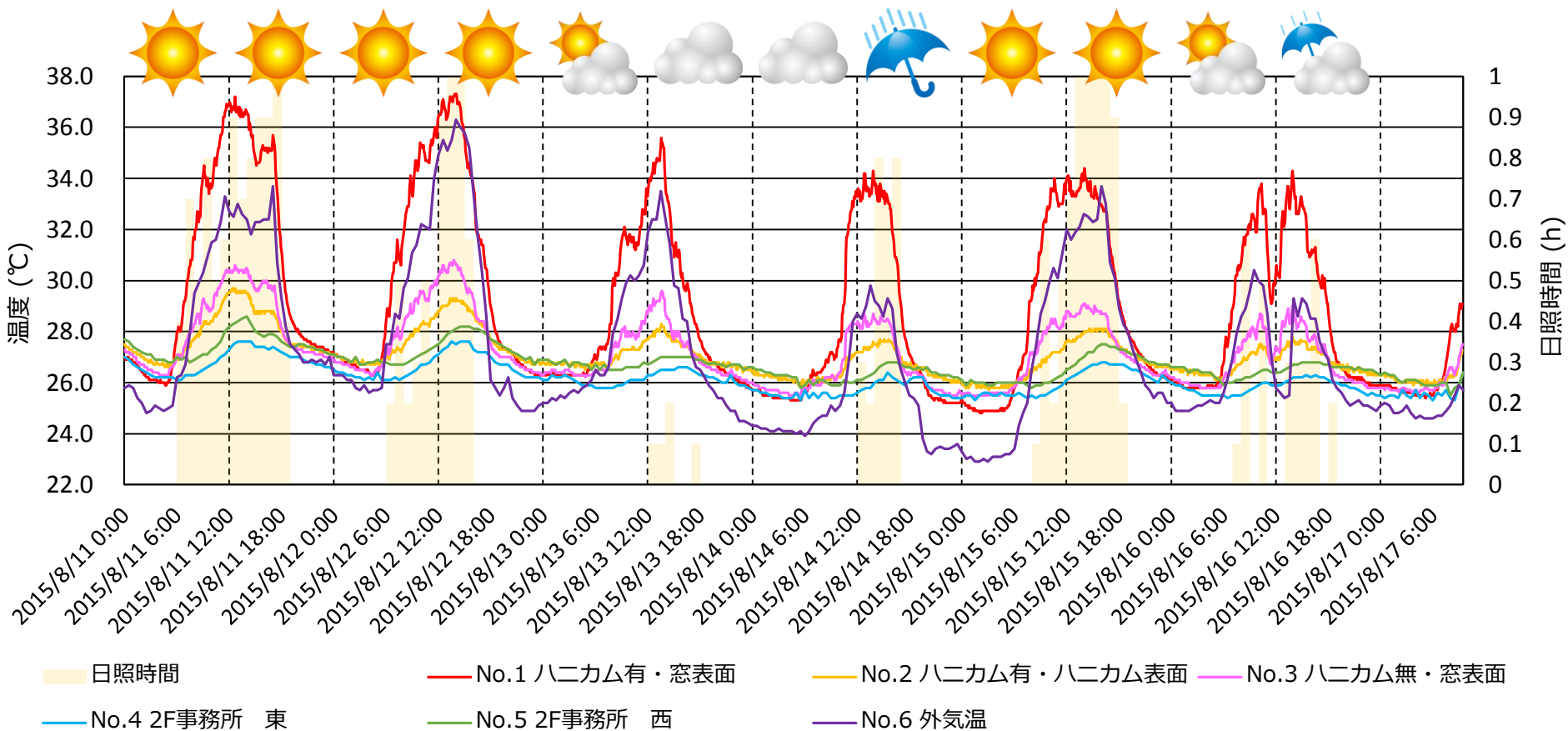


# 平成27年度 夏季休業期間の協会社屋 温熱測定結果 (2015/8/11 ~ 2015/8/16)



(単位: °C)

	ハニカム有		ハニカム無
	窓表面	ハニカム表面 (室内)	
平均値	29.0	27.1	27.2
最大値	37.3	29.7	30.8
最小値	24.8	25.7	25.4

## 【検証期間】

2015/8/11 0:00 ~ 2015/8/17 9:30

## 【条件】

エアコン3台稼動 (出力4kW)、全館冷房、北側の直射日光が当たらない窓の室内側にセンサを設置

## 【結果】

ハニカムブラインド (以下、ハニカム) の断熱効果検証のため、窓の表面温度を測定、比較した。ハニカム使用の窓では、窓表面温度が最高で37.3℃まで上がっている一方で、室内側のハニカム表面温度は最高でも30℃未満に抑えられている。窓から侵入した熱がハニカムによって遮られ、窓-ハニカム間の空間で、室内への熱流入が抑えられていることがわかる。ハニカム未使用の窓は、日中の窓表面温度と外気温を比較すると最高で6℃近くの違いが生じており、この温度差の熱が、窓から直接室内に侵入していると考えられる。

**⇒ハニカムは夏期の室内の温度上昇抑制に効果的である。**